



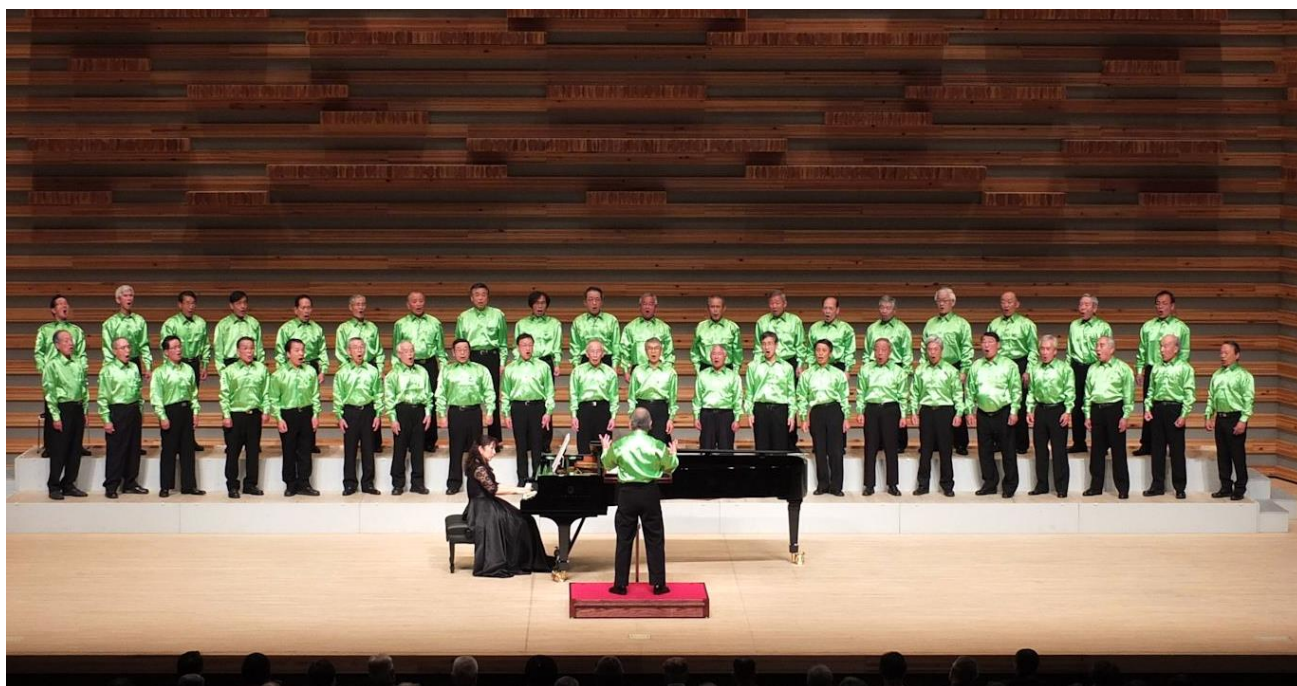
Subaru

男声合唱団 ニュース № 638

17. 12. 5

昂第 11 回コンサート「この道をゆこうよ」開催！ 1,100 名の来客を迎えて一 ご来聴ありがとうございました

12月 3日

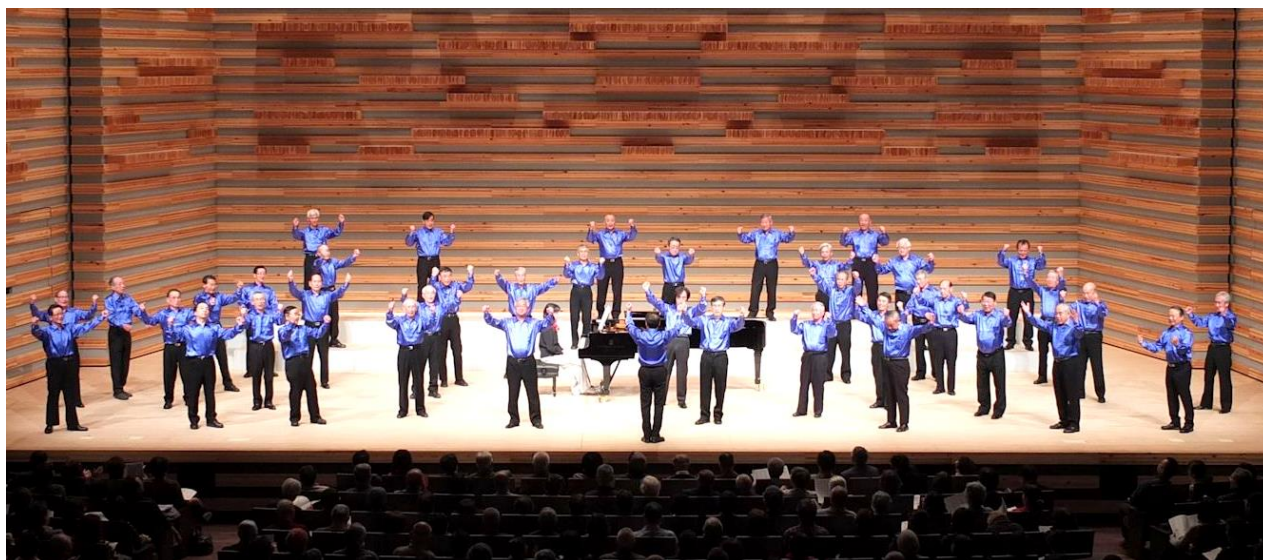


□ 12月3日(日)14:00～16:00 豊中市立文化芸術センター大ホールにて昂第11回コンサートが開催されました。当日は快晴の好天気にも恵まれ、1100名という予想を超える多くのお客様のご来場に、48名の団員（特別団員を含む）、指揮者、ピアニストは昂のうたごえを会場に届けるべく、朝からのリハーサルを経て14:00からの本番に臨みました。

□ プログラム第1部は「日々草」のオープニングで始まりました。西應静さんのピアノ伴奏のもと、星野富弘の詩：日常の生活者のさまざまな気持ちを歌い上げた名曲を静かな中にも格調高く歌い上げようと声を合わせました。「花の歌」「ぶどうとかたばみ」革命運動の英雄・チェゲバラを偲んで、またボスニア・ヘルツェゴヴィナの民族紛争の闘いを歌った2曲、そして与謝野晶子の「きみ死にたまふことなかれ」を男性の声で、続いて「想像力」「忘れっぽい人に」「降りつむ」「街を返せ」と“メッセージ性”の高い、重い曲が並びました。「平和の歌を！」「人間の尊厳を求める歌を！」の昂の願いを込めて、1部の最後は11回コンサートの「この道をゆこうよ」のテーマ曲「このみち」で締めくくりました。

□ 森二三さんの軽やかなピアノ前奏と共に、場面と気分を変えて、団員はライトグリーンの新調の上着からブルーのワイシャツに着替え、舞台いっぱいに広がって「歓びのナーダム」で第2部が幕開けました。引き続き、林さんの軽妙洒脱な司会のもと「会場の皆様と共にシングアウト！」と、「あの青い空のように」「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」

の3曲の歌声が大ホールいっぱいに響きました。



□ 会場の雰囲気
がうんと明るくな
ったところで、昂の
得意な持ち歌である
ロシア歌曲「ヴォル
ガの歌」「ルースカ
エポーリエ」「仕事
の歌」の3曲とシベ
リウスの名曲「フィ
ンランディア」のア
カペラが聴衆の心
をとらえました。





□ 2部後半を「昂の赤シャツ」の舞台で「特別団員とともに」辺野古で、高江で粘り強く闘っている沖縄への支援の心を込めて「さとうきび畑」「芭蕉布」「労働者の合唱」「沖縄を返せ」の4曲を熱唱しました。

□最後に、千秋団長より、会場の皆様へお礼の挨拶を述べました。「9条改憲の動きや国民の声を無視した強権政治は許さない！」その気持ちを歌に託して、これからも昂の歌の柱の一つに「平和の歌」「世界友好の歌」「いのちと暮らしを守る歌」「社会の真実を伝え人々の心をつなぐ歌」を歌い続けたい、そして多くの男性に入団していただくために努力したいことを伝えました。

アンコールに「昂」と「Six pence」で11回コンサートは幕を閉じました。

□お忙しい中を昂の合唱演奏を聴いていただくためにご来場いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。また、今回の開催にあたってご協力いただいた、司会・MC ご担当の林久美子さん、第2部冒頭の「会場の皆様と一緒にシングアウト！」の場面もご担当いただきありがとうございました。わかりやすく適切な指示をいただいた舞台監督の溝口隆徳さん、そして受付を担当の合唱団コスモスの吉本団長をはじめスタッフの皆様とアルバイトの方々にいろいろとお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

□合唱の評価はいろんな角度・観点から、また当日ご来聴いただいたお客様の率直な感想、そして直接演奏に関わった団員・指揮者・ピアニスト、そして有識者の感想や意見にも耳を傾けあい、次回の演奏会に向けて、反省とまとめ・評価や総括の作業が必要と思われます。まずは今年1年間、11回コンサートでの23曲の曲目の演奏をめざして、練習に熱心に取り組む、努力しあったことを多とし、また演奏会に多くの参加を得て成功裏に開催されたことを喜びたいと思います。

連絡事項・お知らせ

□ 11回コンサートの最終レッスン（ゲネプロ）を行いました。

12月1日（金）18:00～20:30 11回コンサートに向けて最後の定例レッスンがありました。当日は林さんのMCのもと、1部・2部全曲通しでレッスンし、舞台の進行とともに、各曲目の最終チェックを行い、11コンサートの成功のために頑張りましょう！と、指揮者の本並先生のメッセージと千秋団長の激励の挨拶でレッスンを終えました。参加者は全40名（MC含む）でした。

□ 11回コンサート打ち上げ会・望年会のおしらせ

12月15日（金） 18:00～ 興隆園にて 会費 3,500 円
（当日のレッスンはありません）

なお、技術部会が16:15～ ねむかホールで開催されます。

□ 『西岡茂樹さんによる合唱講座』

関西合唱団 日曜講座2017 第3回 大阪のうたごえ協議会共催

日時：12月10日（日）13:30～16:30

場所：西区民センター ホール

西岡氏は豊中混声合唱団の指揮者。『6人の音楽家によるニューアレンジ合唱曲集』より「雪がふる」「旅のはじまり」「町」の3曲を練習します。すぐ歌える名指揮者。

2018年のうたごえ70周年大阪祭典にむけてこれからも歌う曲。昂メンバーに役立つ講座です。時間のある方はぜひ参加願います。

関西合唱団 日曜講座2017(連続3回) 第3回 大阪のうたごえ協議会共催

西岡 茂樹 さんによる 合唱講座

うたごえの曲がどんな音楽に生まれ変わるのでしょうか…

西岡茂樹先生は、多くの合唱団で指揮や指導に活躍されておられます。うたごえ関係でも、豊中混声合唱団として、うたごえ新聞まつり（2015年）や響aiコンサート（2017年 福島県）に出演、また、北部うたごえサークル協議会の合唱講習会の講師をしていただくなど、お世話になっています。また、昨年の大阪のうたごえ合唱発表会の審査員もお願いしました。情熱的な指揮から紡ぎ出される絶妙の音楽は“西岡マジック”とも称されています。

今回は、『日本のうたごえ70周年記念 6人の音楽家によるニューアレンジ合唱曲集「みんなのうた」』の中から3曲を選んでいただき、合唱づくりをお願いしました。うたごえ運動で生まれた曲が、日本を代表する音楽家のアレンジで新たな息吹を吹き込まれ、それが西岡先生の指揮でどんな音楽になるのか、興味がつきません。至福の3時間にきっとなるはず…

日 時 12月10日（日） 午後1:30～4:30

会 場 西区民センター ホール

（地下鉄千日前線「西長堀」7番出口から北へ100m、
地下鉄鶴見緑地線「西長堀」3番出口から南へ100m）

参加費 1,500円 3回連続講座通し券 4,000円

ピ ア ノ 門万沙子

練習曲 雪がふる （寺嶋陸也編曲）

旅のはじまり （新実徳英編曲）

町 （信長貴富編曲）

当日練習 午後1:00～1:30 同会場で行います。

いずれも、『日本のうたごえ70周年記念 6人の音楽家によるニューアレンジ合唱曲集「みんなのうた」』所収。楽譜をご持参ください。当日も楽譜集（定価2,000円）をご用意します。

なお、題材曲の事前練習を予定しています。お申込みいただいた方には、追って練習日程をご案内します。

お問合せ、お申込は 関西合唱団

〒536-0014 大阪市城東区鶴野西5-17-16
TEL: 06-6962-5482 FAX: 06-6969-1261
E-mail kansaigasshoudan@ybb.ne.jp
http://www.geocities.jp/kansaigasshoudan/

大阪のうたごえ協議会

大阪音楽センター会館内
TEL: 06-6969-3373 FAX: 06-6969-1261
E-mail oosakautagoe@yahoo.co.jp
https://utagoeosk.jimdo.com/